

# 令和五年度 学校関係者評価報告書

学)高見学園 高見幼稚園

## 1. 本園の教育目標

子どもの笑顔を喜び、健やかな成長を願い、一人ひとりの感性を伸ばし、仏の子どもを育てます。

- みほとけさまに手を合わせるやさしい子どもを育てます
- 明るく元気の良い子どもを育てます
- 人のおはなしが上手にきける子どもを育てます
- 友だちと仲良く遊べる子どもを育てます

## 2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

親鸞聖人が示されている教えを基礎とする心の教育を中心として、音感教育、食育、知育を行いながら、幼稚園の特色であり、且つ子どもたちの成長が如実に見られる行事への積極的な取り組みを行う中で、各教員が自らの教育姿勢に真摯に向き合い、保育内容の改善に取り組んでいく。

## 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	取り組み状況
1	保育について	<p>今年度は昨年度とは異なり、新型コロナウイルス感染症についてその法的位置づけが変わったため、園における教育活動も、従来通りの取り組みが再開できるようになった。</p> <p>園児の安全を最優先であることには変わりなく、その上で、子どもたちの笑顔にあふれる、それぞれの教育活動を行うことが出来た。</p> <p>また、家庭と幼稚園との間におけるコミュニケーションにおいては、園の教育活動やそのねらいについて十分に説明、共有することが直接出来たため、園と保護者の間で信頼関係が醸成され、園児、保護者、保育者の間で、心を通わせながら保育を行うことが出来た。</p>
2	行事への取り組み	<p>感染症の位置付けが変わったことにより、コロナ禍以前の内容で行事を行うことについては、前例踏襲となることなく、必要なこととそうでないことを仕分けながら、且つ、幼児期ならではの大切な学びを行えるよう、内容を精査し、行事に向けて取り組むことが出来た。行事の実施していく上では、保護者にゆだねる内容などについては、より丁寧な説明を行い、理解を深めた上で進めることを心掛けた。</p> <p>園児、保護者、保育者の三者がそれぞれの行事に積極的に参加をし、子どもの大きな成長をともに喜びあえる内容であったと感じている。</p>
3	園児の安全対策	<p>園児の安全対策は、園が教育活動を行う上で果たすべき絶対的な使命であるという信念のもと、必要な対策については最優先で行っている。</p> <p>園児送迎バスの安全装置取付が義務化となったことを受け、速やかな設置及び、保護者へのデモンストレーションを実施し、園と家庭の双方が、子どもの安全に対する認識を深めることが出来た。</p> <p>また、近年問題化している「不適切な保育」については、教職員間で研修、自己評価などを繰り返し、職員個々の人権意識の向上や、原因となる教育環境の見直しを鋭意行っている。</p>

#### 4. 幼稚園評価の具体的な目標の総合的な評価結果

「まことの保育」を教育の中心に据えるなかで、職員全員が自分の思いのみを中心にして進める保育ではなく、仏さまの教えをよりどころとする保育の実践を行うことが出来た。

#### 5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	園児の安全	園児の安全を最優先とした、対策の徹底、保護者への協力依頼 保育者の虐待等の事件にかかる研修会の実施
2	保育士の不足	幼稚園教諭の処遇改善、保育士の確保
3	教職員間のコミュニケーション	幼児に関することや業務に関することについて、教職員同士がより密接にコミュニケーションを図り、充実した教育活動を一丸となつて行う

#### 6. 学校関係者の評価

令和5年度は、教職員が多く入れ替わり、年度当初は子どもたちが新しい環境になじめるかどうか不安もあったが、経験豊富な先生が、愛情をもって熱心な教育活動を行っていただいたことで、安心して子どもを預けることが出来た。コロナ禍も落ち着き、様々な教育活動が本来の姿に戻ることで、子どもたちの成長を十分に感じる事が出来た1年であった。

本園が教育方針に据えている「まことの保育」の実践、所謂「生きる力」の礎とも言うべき、生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、美しいものや自然に感動する心等の豊かな人間性の育成は、予測困難な現代にあつて、重要な教育課題であると実感している。

今後も園が大切にしている教育理念を中心とした、幼児教育に鋭意取り組んでいただくことを期待する。

#### 学校関係者評価委員

